

2月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和6年2月5日(月)

午後1時30分～

地域交流センター第3・4研修室

出席委員 職務代理 小山正文 委員 高野羊子
委員 坂口曜子 委員 小松小百合
出席職員 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 伊藤尊夫
筑北中学校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明
次長 臼井太津男 主任 高野智弘

一 開会(臼井教育次長)

令和6年2月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願ひいたします。

二 教育長挨拶(加瀬教育長)

教育長: 大雪であります。おそらく警報級の雪だろうと思われまふので、対応をお願ひします。今日はこういった状況でもあります。早めに連絡事項や大事なことのみに確認させていただいて、園長先生、校長先生には早く学校へお戻りいただき、いろいろな対応に備えていただきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。以上でございます。

三 報告

1) 教育長報告

臼井次長: 報告事項に移ります。教育長報告をお願ひします。

教育長: 特に私からは、ございません。

臼井次長: 続いて子育て支援コーディネーター報告に移ります。

2) 子育て支援コーディネーター報告・保育園長・学校長報告

高野CO: (以下、資料に沿って説明)。

臼井次長: 只今の子育て支援コーディネーター報告についてご意見等ございまし

たらお願いします。それでは続いて保育園長報告に移ります。

塚原園長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の保育園長報告についてご意見等ございましたらお願いします。それでは続いて小学校長報告に移ります。

伊藤校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の小学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

小松委員: スクールバスの件ですが保護者も思うところがありますよね。

坂口委員: 子供たちがどのような提言をしたのですか。

伊藤校長: 路線バスではなくて、スクールバスが良いということです。今の問題点については、朝早く来るので、その時間帯に先生が少ないため安全性の問題。また、下校時については長い間バス時刻まで待たなければならない問題です。専用バスではないので村の方も乗車すると、時には小さい子が立っている所以安全性の問題があるので何とかしてくださいということです。

坂口委員: 早い子は6時台に家を出ています。それまでに準備を済ませ朝食も食べてくるとなると、とても大変だと思われます。乗車時刻に間に合わず朝送ってくる保護者もあります。もう少し遅くなれば乗車させることができると思います。

小松委員: 村のバスを利用している子供たちもそのように感じています。検討していただければと思います。

白井次長: ありがとうございます。他いかがでしょうか。続きまして中学校長報告をお願いします。

白井校長: (以下、資料に沿って説明)。

白井次長: 只今の中学校長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

よろしいですか。それでは以上で報告を終わりにします。

協議事項に移ります。

四 協議事項

1) 令和6年度の教育委員会関係予算について

教育長: それでは協議事項に移ります。令和6年度の教育委員会関係の予算について次長お願いします。

白井次長: 来年度の教育委員会関係予算ということで主なものにつきましてご説

明をいたします。

まず一番大きい部分につきましては、小中学校の講師それから支援員の確保ということで、現状からプラスアルファで要望をしております。

それから保育園と小学校につきまして医療的ケア児の必要な子供に対して、小学校につきましては今年度と同じような体制を考えております。また保育園につきましては来年度未満児の入園が予定されているお子さんがいらっしゃいます。その部分につきましては訪問看護ステーションへの委託に加え、もう 1 人会計年度任用職員を雇うことを現在考えておるところであります。どちらも国の補助金を財源として行っていただければと考えております。

それから保育園につきましては給食調理機整備ということでスチームコンベクションを要求しております。

また今年度から行っております GIGA スクールの学校支援委託料ということにつきまして、来年度は当初予算 120 万ほど計上しております。年間を通じて学校支援に入っていただきます。あと夜間や長期休みのときの困りごとに対しまして塩筑広域でヘルプデスクを作ります。その広域の運営支援センターへの委託という部分も併せているところでございます。

小学校が来年度教科書改訂になります。それに伴い指導書も変わってきます。例年だと 150 万から 200 万という形で推移しています。これからデジタル教科書の対応もございますので、現行のところ約 350 万の予算計上をしております。来年度は小学校、次の年に中学校の教科書改訂となります。

中学校として中間教室の整備を予定しております。整備する場所ではありますが、パソコン教室を予定しています。パソコン教室につきましては、今ほとんど使っていない状況です。具体的にはエアコンの整備ということで現在予定をしております。

文化財の関係ですが、中町から麻績城址に至るところの案内板の修繕を予定しております。

また 3 月の定例の時に資料もつけながらご説明いたします。

修繕につきましては、なかなか前向きな修繕が見通せない状態であります。現行の不具合を見つけながらの後追い修繕というような形が中心になります。以上です。

教 育 長: 今の説明についていかがでしょうか。よろしいでしょうか。

五 その他

1) 各委員から

教育長: 各委員さんからございますか。

小松委員: 「わくわくの村」について説明いたします。活動ですが約2年弱活動してきました。主な活動としては自然の中での活動になります。畑作りをして、作った野菜を料理して食べたり、伝統的な行事だったり、遊びだったり、そういうものを体験しています。また秘密基地作りをして遊ぶ等々の活動を行ってきました。

それから、居場所作りということで、誰もが安心して集える場所の提供をおこなっています。場所を確保しながら準備は進めていますが、これからいろいろ考えていかなければなりません。より周知される活動になっていくといいと考えております。

それから「時間銀行」というシステム作りをしているところです。結いのシステム作りになります。お互い様を基本理念として、自分の時間と労力を使って必要な人とやり取りをするシステムになります。お金を使わず人との繋がりを通して活動をしていけないかと進めているところです。詳しくは次回の教育委員会の定例会に代表の和栗さんに来ていただいて、お話をさせていただきます。私の個人としての気持ちですが、わくわくの活動があらゆる可能性を持っていると思います。保小中一貫、ひだまり広場、児童クラブ、おみっこ元気くらぶなどの活動とも一緒に活動を広げられると思っています。

また、居場所づくりという点では、学校に通えない人たちの役割があるのかと思います。

時間銀行については、例えば中学校などの部活に活用できるのではないかと考えています。皆さんに協力していただきながら、麻績全体で子育てをしていく良い機会になるのではないかと考えています。以上になります。

教育長: ありがとうございます。保小中一貫教育の具体的な取り組みかなと思います。それぞれ園児、児童生徒が参加しているということで、一つの方向性かと思っています。

法人資格をまもなく取得できるところまで来ているそうです。そのようなところも合わせると非常に良い活動かと思っています。これは中信教育事務所の生涯学習課が担当になると思いますので、そことも併せていろいろな活動を広げられればと思っています。

次回の定例会のところで、もう少し具体的な内容をデータや資料で用意していただけるので、そこでお話をお伺いできればと考えております。よろしく申し上げます。

小山職務代理: 新聞にも報道されていましたが、スマートフォンの使用時間と成績の関係、依存の問題やSNS投稿の問題など様々な影響があるようです。昭和の

時代では考えられないような事件や事故があり、怖さを感じました。節度のある使い方を考えていかなければと思いました。

教 育 長: はいありがとうございました。

2) 次回予定

次回の定例教育委員会の日程 3月1日(金) 午前9:30～

六 閉会

教 育 長: 以上をもちまして2月の定例教育委員会を閉じます。